

大船渡湾内観測結果(No.4)

“今月の話題”

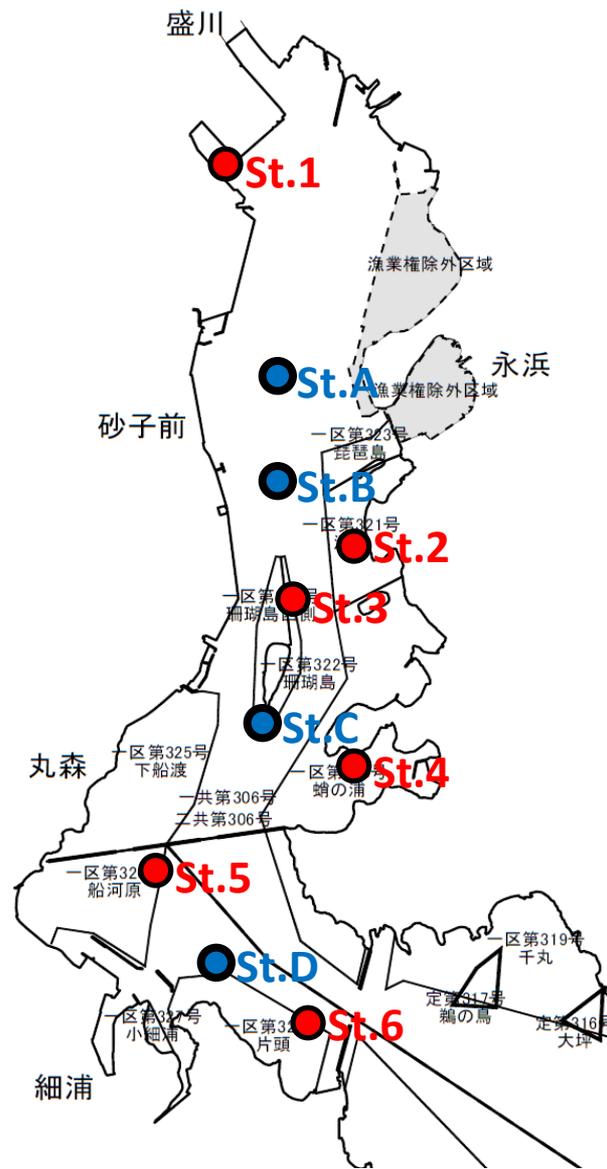
湾内の水温(2.5m、10m層)は15~17°C台であり、ほぼ例年通りの値となっています。透明度が例年と比較して高く、平均で+2.3m、最大で+3.7m(St.3)となりました。

7月11日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

水温はSt.1~6の水深2.5mが16.9~17.8°C、水深10mが15.3~15.6°Cでした。平成18年度から平成30年度の平均値と比べて、水深2.5mが-0.8~+0.2°C、水深10mが+0.1~-0.4°Cの範囲内でした。

透明度は5.0~10.0mであり、平成18年度から平成30年度の平均値と比べて、+1.5~+3.7mの範囲内でした。

海域名:大船渡湾 調査担当:水産技術センター、大船渡水産振興センター、大船渡市							
観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日	令和元年7月11日						
観測時刻		11:06	11:21	10:47	10:34	10:23	10:07
天候	くもり						
水深(m)		8.9	24.0	27.8	19.3	25.4	36.8
透明度(m)		5.0	8.0	10.0	9.0	10.0	10.0
水色		10	8	7	9	7	7
水温(°C)	表層0m	19.9	19.6	19.7	19.4	19.2	19.0
	水深2.5m	17.8	17.2	17.1	17.1	17.3	16.9
	水深10m	-	15.6	15.5	15.3	15.4	15.6
	海底上1m	15.7	12.9	12.3	13.8	13.1	12.5
塩分	表層0m	20.1	25.8	26.6	26.1	25.8	27.0
	水深2.5m	31.9	32.7	32.5	32.7	32.1	32.5
	水深10m	-	33.3	33.3	33.4	33.4	33.4
	海底上1m	33.2	33.7	33.8	33.7	33.7	33.9
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	105.3	119.9	120.8	117.0	113.5	113.2
	水深2.5m	135.7	117.7	117.4	117.8	111.3	112.1
	水深10m	-	112.5	111.3	107.3	109.3	109.5
	海底上1m	106.9	71.5	56.0	89.6	75.9	82.3
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器での測定値のため参考値扱い	表層0m	3.7	1.5	1.6	1.5	1.5	1.3
	水深2.5m	3.0	1.1	0.7	0.9	0.8	0.7
	水深10m	-	0.9	1.2	1.7	0.7	0.7
	海底上1m	1.4	1.0	0.4	2.1	1.5	0.6



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

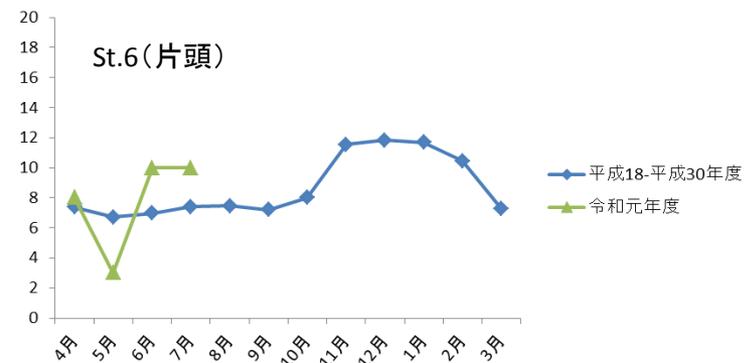
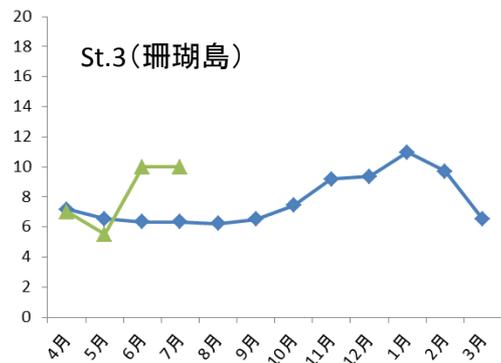
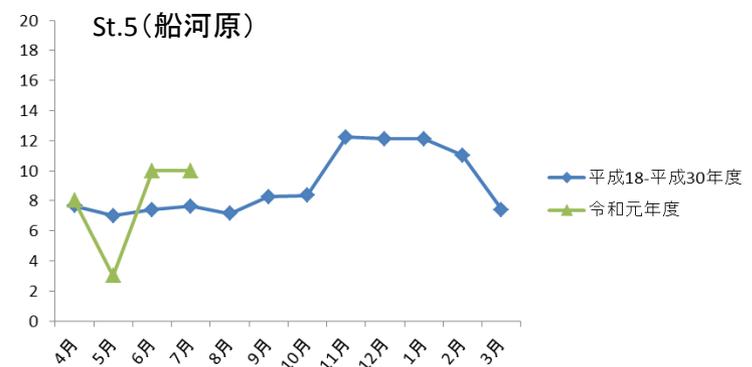
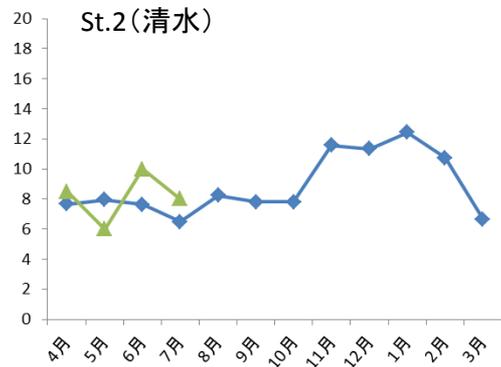
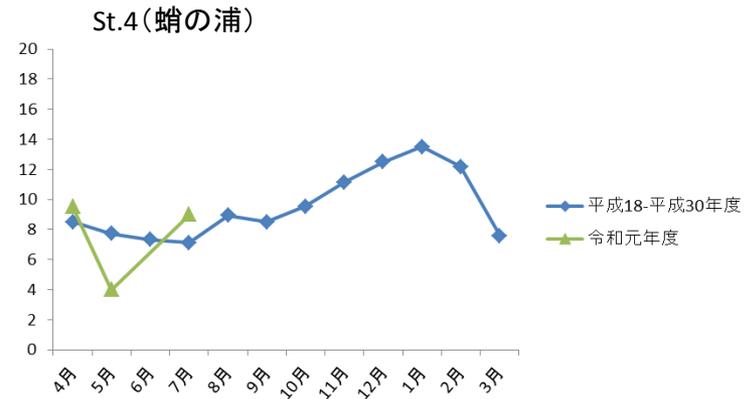
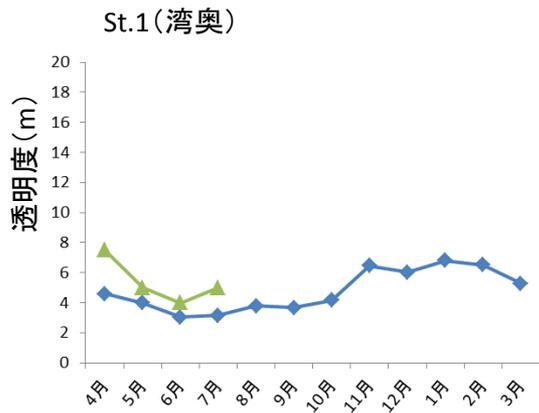


図2 透明度の推移

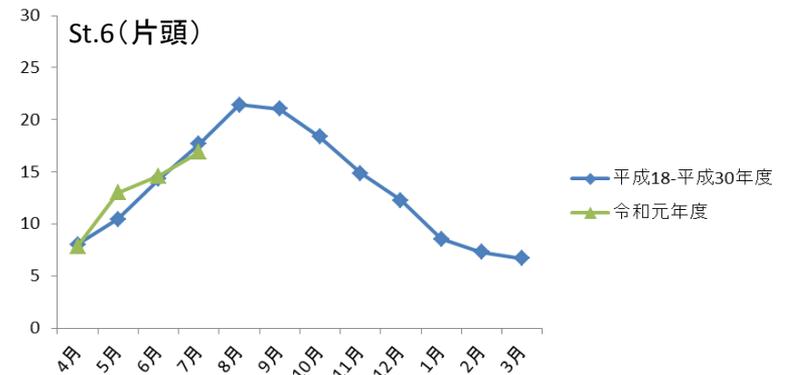
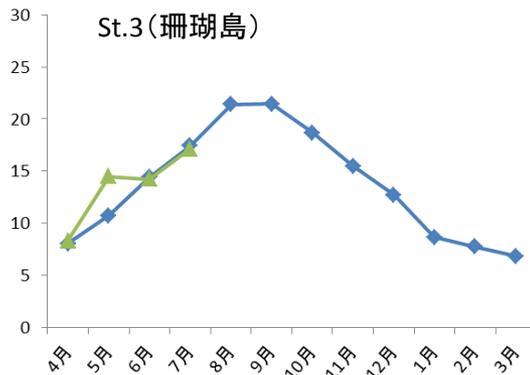
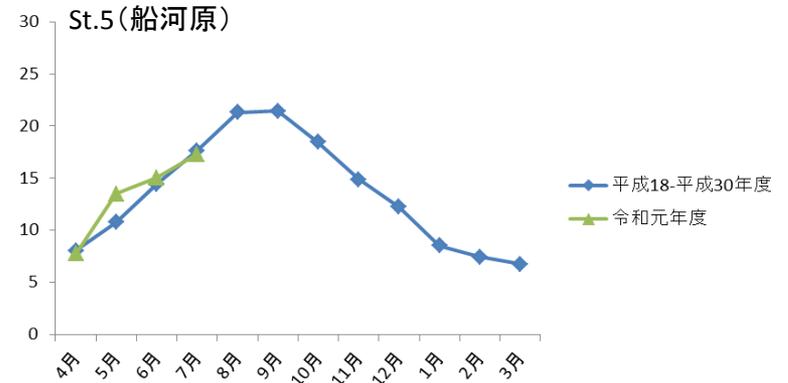
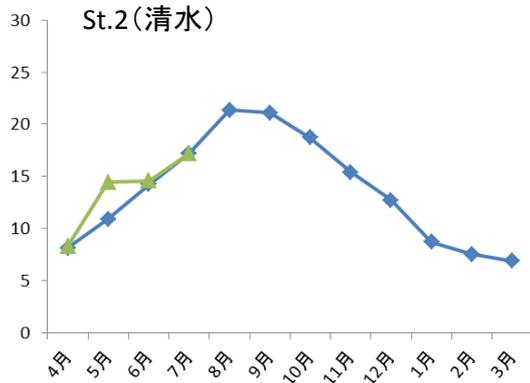
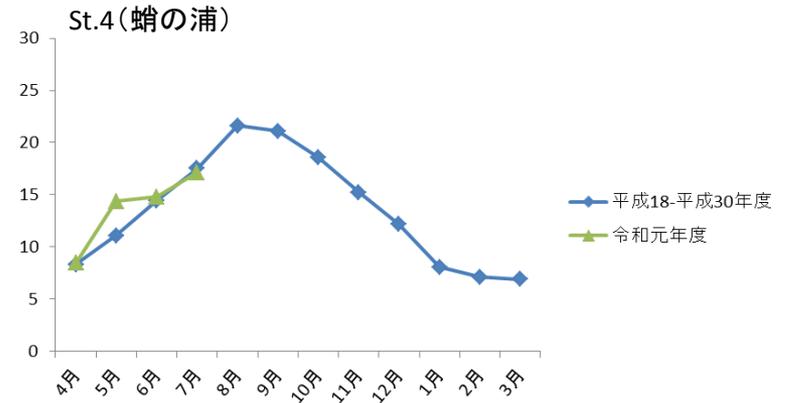
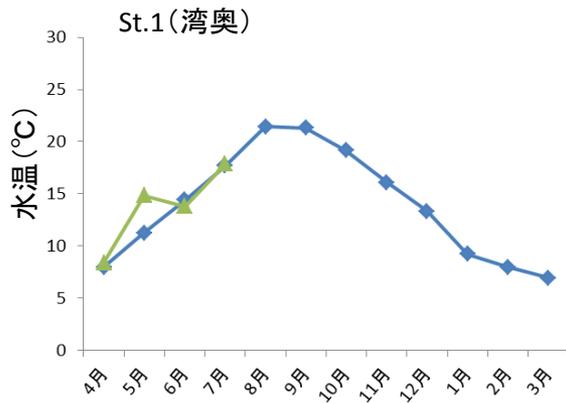


図3 水深2.5mの水温の推移

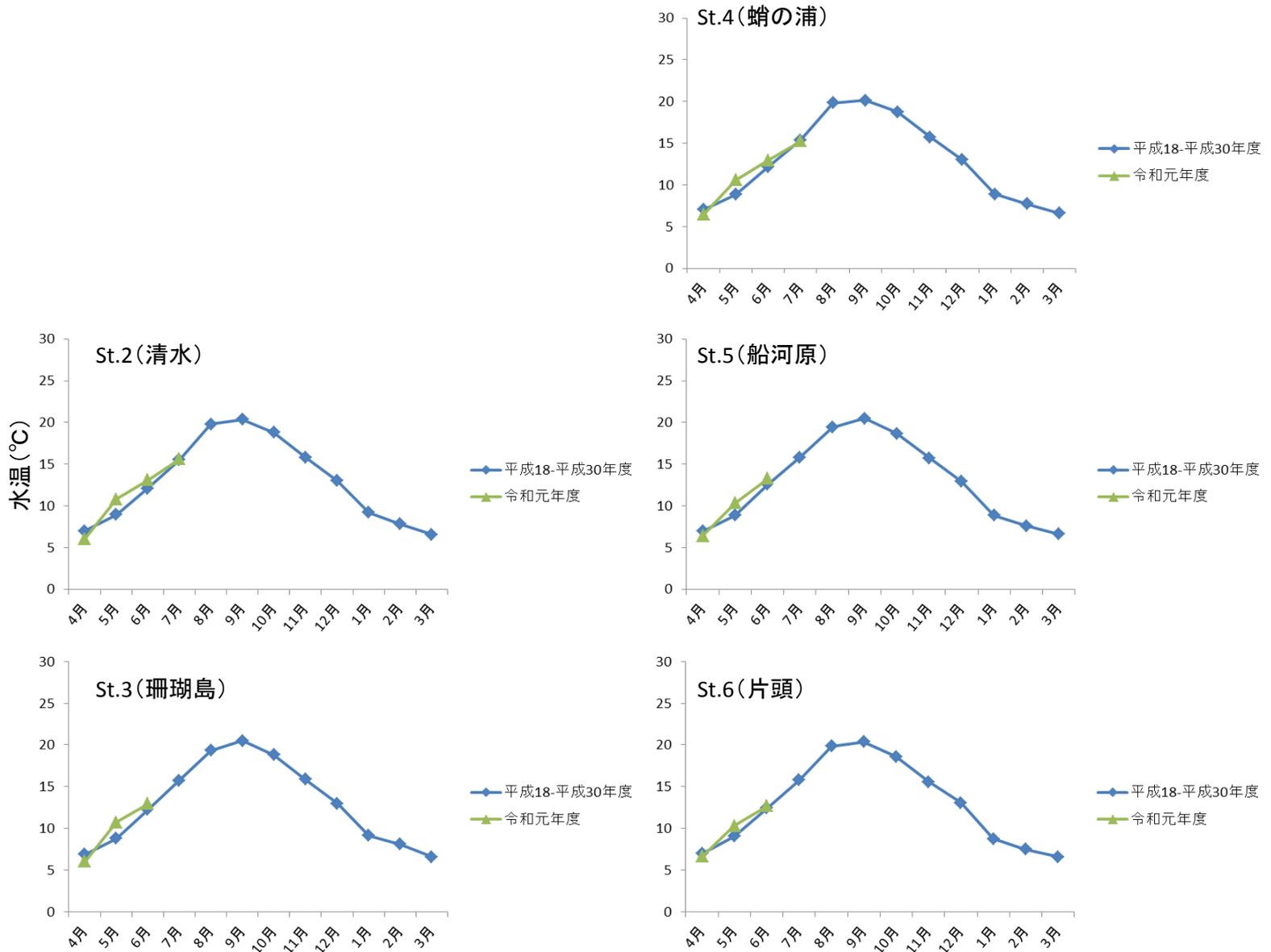


図4 水深10mの水温の推移

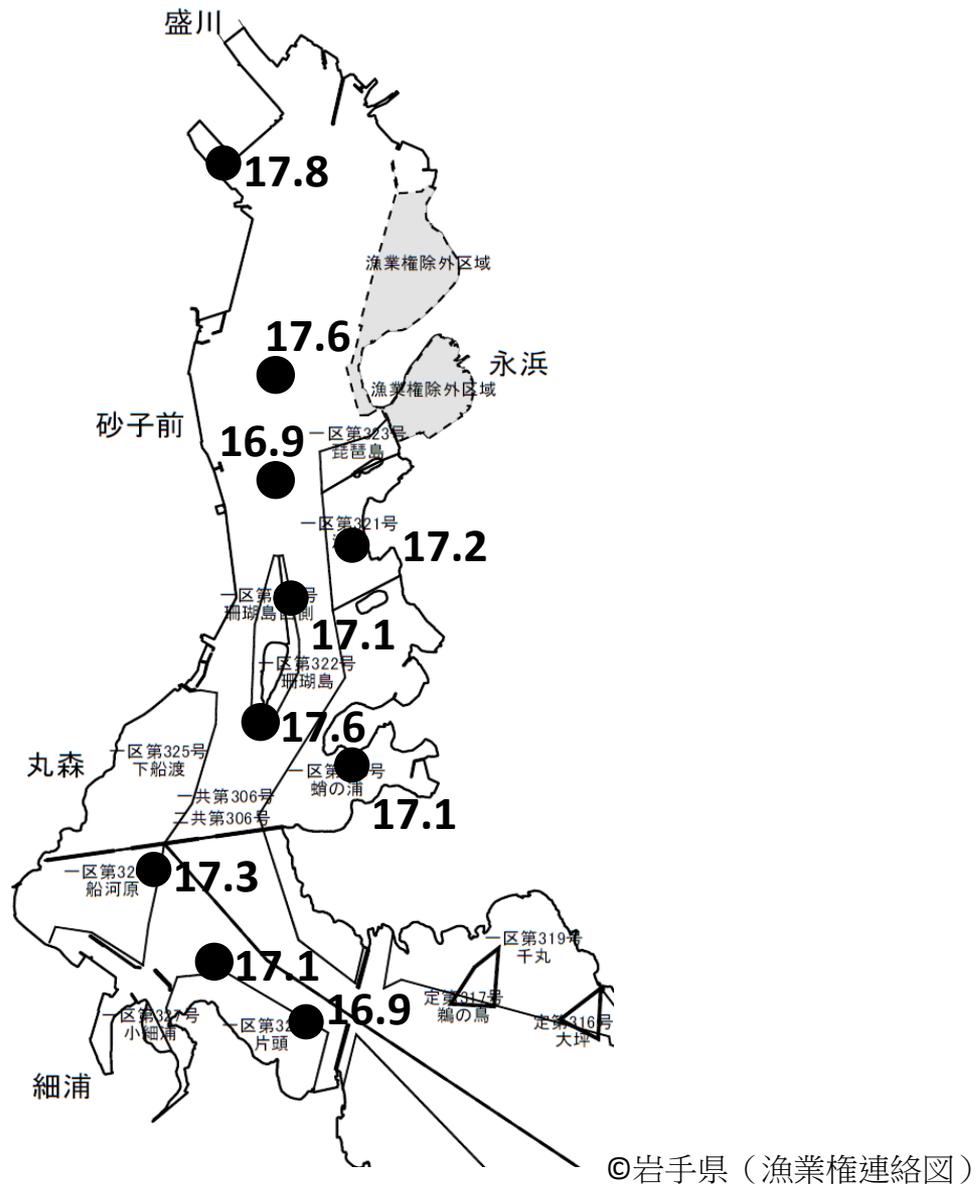


図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。

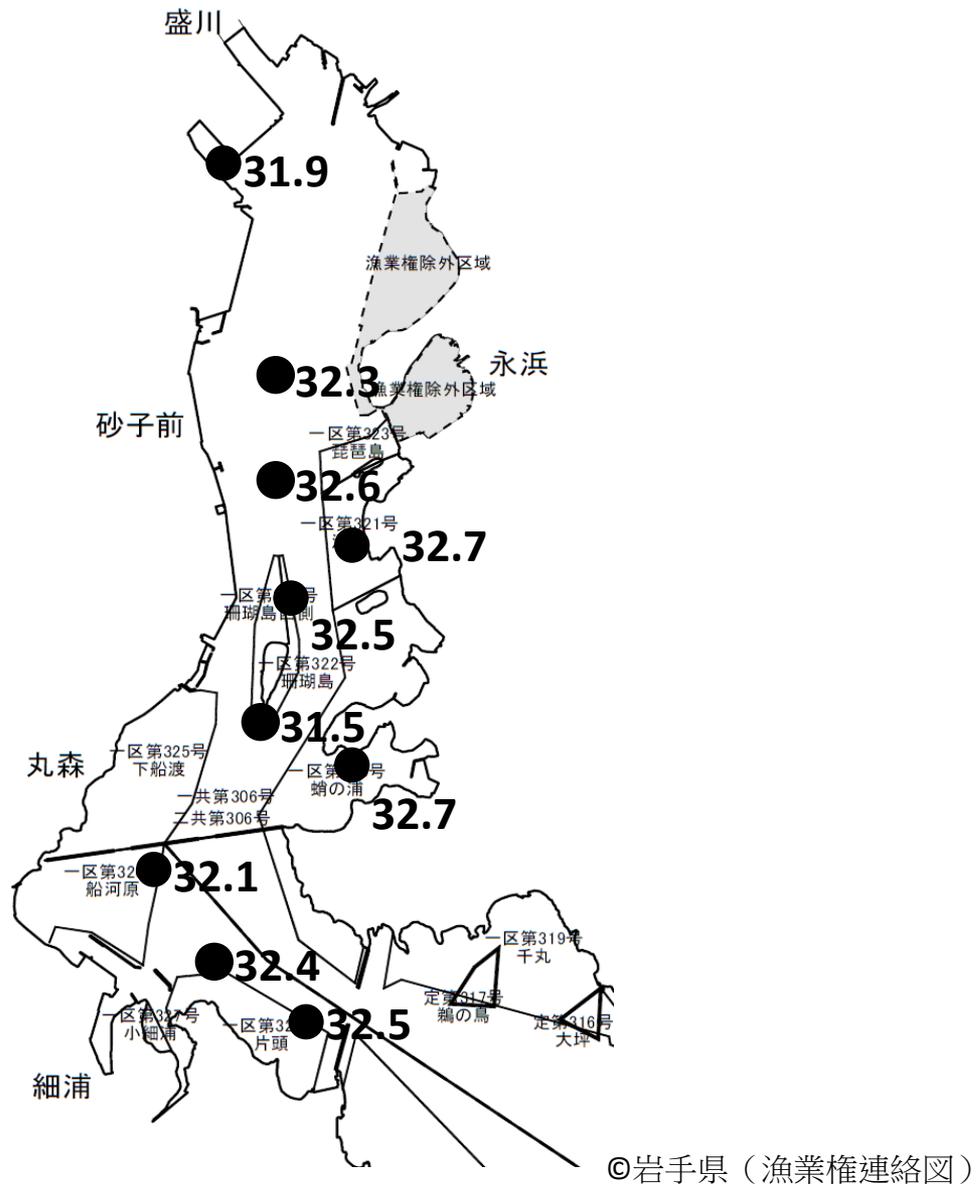
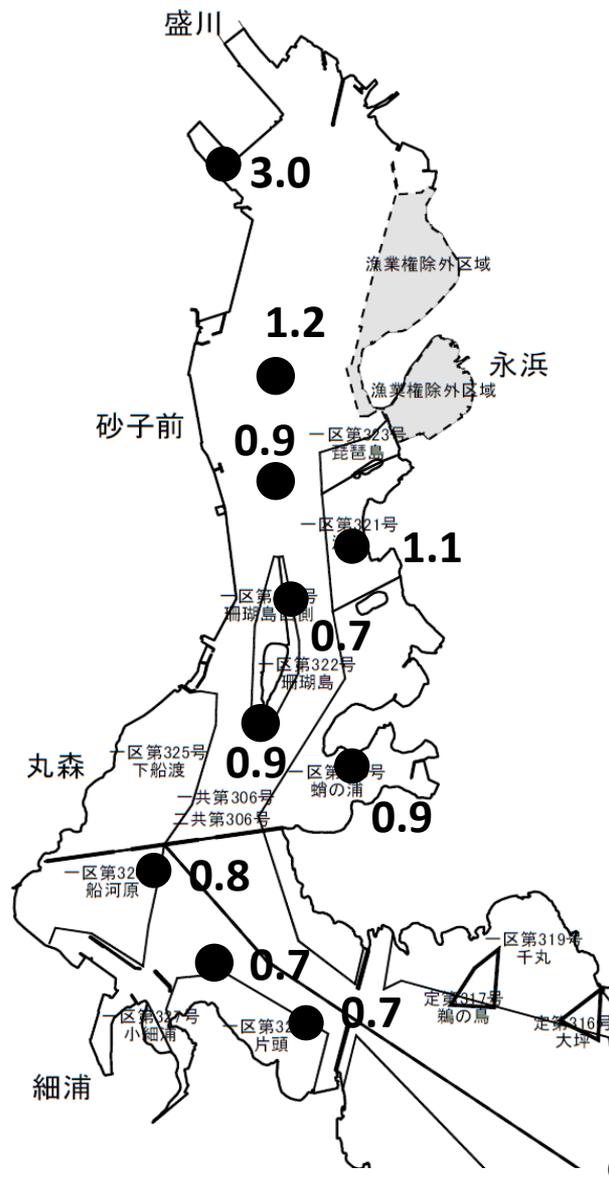


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。



©岩手県（漁業権連絡図）

図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。観測機器での測定値のため参考値扱い。